

ゴミと上手に

つきあひついでいじり

今月は、3R推進月間です

資源循環型社会を作るためには、行政や事業者の努力だけではできません。みなさん一人一人のご協力が必要です。

今月は、**3R推進月間**です。**3R**はReduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)ですが、**3R**にとられず**5つ**のRを目指して資源循環型社会を作りましょう。

5つのRとは

Reduce (リデュース)

・ゴミを減らす

限りある資源を節約するもっとも効果的で重要な方法は、廃棄物を出さないことです。これを実行するには私たち一人一人にいら

いものや使つてもすぐゴミになってしまうようなものは買わないという意識をもつことです。

Reuse (リユース)

・繰り返し使う

使い捨て商品は買わない、洗剤・調味料・ペンなどは詰め替え用を買う、乾電池はなるべく充電式を使う、最後まで使い切るなど、一つの商品を繰り返し使うことです。

Recycle (リサイクル)

・再利用する

現在ではさまざまな製品・素材ごとにリサイクルの仕組みが出来上がっていますが、その第一過程であるゴミの分別は一人一人が気を付けて行わないと、それ以降のリサイクルの行程にも大きく影響を与えてし



ゴミゴン君

まいまず。面倒がらずに、きちんと分別しましょう。

Repair (リペア)

・修理する

物が壊れてしまったときは、捨てる前にまず直せるか試してみましょう。それから手放したとしても遅くはありません。そうした個人の意識改革も大切なことです。

Reject (リジェクト)

・拒否する

過剰包装、シヨッピングバッグ以外にもファーストフード店の調味料やアイスクリームの使い捨てスプーンなどを断ること、ごみの減少につながるものもあ

ります。

これらの中で、できることから始めてみませんか。例えば、ペットボトルをゴミとして出す場合、キャップをつけたままだったり、中にタバコの吸殻などが入っていると再利用ができない場合があります。キャップをはずしてプラスチック容器として出すように心がけましょう。

また、町では商工会女性部と協力して、家庭で簡単にできる『2R』(リデュース・リジェクト)としてマイバッグ運動を推進し、モ



ニターと参加店を募集しています。

この運動は、買い物の際にレジ袋を断り、家庭から出るごみを減らすという運動です。モニターと参加店の方には、後日簡単なアンケートにご協力いただきます。

この機会に使い捨ての生活習慣を変えて、環境にやさしい生活習慣を送ってみませんか。

問合せ

住民課住民環境班

☎ 1212

商工会女性部

☎ 1661

